

202X年XX月XX日版

【 】内に該当する要請（新規指定、成分規格改正、使用基準改正）をご記載ください。

【新規指定】

（添加物名）概要書（案）

〇〇〇〇株式会社

目次

項目	ページ No.
I. 添加物の概要	
序	
1. 名称及び用途	
2. 起源又は発見の経緯	
3. 国内外における使用状況	
4. 国際機関等における安全性評価	
5. 物理化学的性質	
(1) 構造式等	
(2) 製造方法	
(3) 成分規格	
(4) 食品添加物の安定性	
(5) 食品中の食品添加物の分析法	
6. 使用基準案	
7. その他	
II. 有効性に関する知見	
1. 食品添加物としての有効性及び他の同種の添加物との効果の比較	
2. 食品中での安定性	
3. 食品中の主要な栄養成分に及ぼす影響	
III. 安全性に関する知見	
1. 体内動態試験	
2. 毒性試験	
(1) 遺伝毒性試験	
(2) 反復投与毒性試験	
(3) 発がん性試験	
(4) 生殖毒性試験	
(5) 発生毒性試験	
(6) アレルゲン性試験	
(7) その他の試験	
3. ヒトにおける知見	
IV. 一日摂取量の推計及び考察	
V. 引用文献一覧	

I. 添加物の概要

序

1. 名称及び用途

(1) 名称

(2) CAS 登録番号等

(3) 用途

(4) 使用方法

2. 起源又は発見の経緯

3. 国内外における使用状況

(1) 日本

(2) コーデックス

(3) EU

(4) 米国

(5) オーストラリア・ニュージーランド

4. 国際機関等における安全性評価

(1) 食品安全委員会

(2) JECFA

(3) EFSA 及び SCF

(4) FDA

(5) FSANZ

5. 物理化学的性質

(1) 構造式等

1) 構造式又は示性式

2) 分子式及び分子量

(2) 製造方法

(3) 成分規格

1) 成分規格案

項目	成分規格案	参照規格
① 名称		
② 英名		
英名別名		
③ 日本名別名		
④ 構造式		
⑤ 分子式又は組成式		
⑥ 分子量又は式量		
⑦ 化学名		
⑧ CAS 登録番号		
⑨ 定義		
⑩ 含量		
⑪ 性状		
⑫ 確認試験		
	(1)	
	(2)	
⑬ (示性値)		
例：pH		
⑭ 純度試験		
	(1)	
	(2)	
⑮ 乾燥減量、強熱減量又は水分		
⑯ 強熱残分、灰分又は酸不溶性灰分		
⑰ 微生物限度		
⑱ 定量法		
⑲ 保存基準		

参照規格

- 1 :
- 2 :
- 3 :
- 4 :

2) 成分規格案と既存の規格との対照表

3) 成分規格案の設定根拠

4) 試験法の検証データ及び試験成績

(4) 食品添加物の安定性

(5) 食品中の食品添加物の分析法

6. 使用基準案

(1) 使用基準案

(2) 使用基準案の設定根拠

7. その他

II. 有効性に関する知見

1. 食品添加物としての有効性及び他の同種の添加物との効果の比較
2. 食品中での安定性
3. 食品中の主要な栄養成分に及ぼす影響

III. 安全性に関する知見

1. 体内動態試験

2. 毒性試験

「添加物に関する食品健康影響評価指針」の第1章第5ア（ア）該当性

（「添加物に関する食品健康影響評価指針」（食品安全委員会決定）の第1章第5ア（ア）に該当すると考える場合に記載）

（1）遺伝毒性試験

指標	試験種類	試験対象	被験物質	用量等	試験結果	参照文献
遺伝子突然変異						
染色体異常						

（2）反復投与毒性試験

（3）発がん性試験

（4）生殖毒性試験

（5）発生毒性試験

（6）アレルギー性試験

（7）その他の試験

3. ヒトにおける知見

IV. 一日摂取量の推計及び考察

V. 引用文献一覧